

平成30年度

事業計画書



公益財団法人国際交通安全学会

目 次

事業計画書

平成 30年度事業計画の重点	1
----------------	---

平成 30年度事業計画

〈国内外の「交通とその安全」にかかわる社会貢献事業〉

I. 研究調査	2
II. 国際連携	3
III. 広報・出版	3
IV. 褒賞	3
V. IATSS フォーラム	4

平成30年度 事業計画の重点

理想的な交通社会の実現に寄与することを目的とし、
〈国内外の「交通とその安全」にかかわる社会貢献事業〉を行う。

1. 交通及びその安全に関する研究調査
2. 交通及びその安全に関する研究会の開催
3. 交通及びその安全に関する情報、資料及び文献の収集及び発行
4. 交通及びその安全に関する研究調査、教育その他の活動に対する褒賞
5. 諸外国における理想的な交通社会実現に向けた研修
6. その他本会の目的を達成するために必要な事業

(展開に当たっての基本的な考え方)

1. 学際性並びに国際性を特徴としての、先見性及び実際性を旨とする活力ある事業運営の継承。
2. 社会の変化をとらえつつ、予定される収入を基とする効率的かつ均衡のとれた事業運営の継続。

(今年度の重点施策)

1. 創立50周年（2024年）に向けた戦略構築
 - 1) 国際展開の強化に向けた基盤作り
 - 2) 社会・技術の将来環境を見据えた研究・調査
2. IATSSフォーラム事業の進化
 - 1) インドのトライアル参加、プログラムの検証と新提案
 - 2) フォーラムALUMNIを活かしたIATSS研究調査活動等とのコラボ展開
3. IATSSネットワークの強化
 - 1) 基礎的調査他

平成30年度 事業計画

項 目	予 算 (円)
<p>国内外の「交通とその安全」にかかわる社会貢献事業</p> <p>I. 研究調査</p> <p>1. 次の方針を維持して運営する。</p> <p>1) 本会の目的である理想的な交通社会の実現に寄与するという原点にたち、特徴である学際的かつ国際的な研究調査テーマに取り組む。</p> <p>2) 研究調査の成果については、社会への発信に加え、実践及び具現への提言を積極的に行う。</p> <p>2. 会員発案による研究調査を10本前後展開する。</p> <p>1) 自主研究プロジェクト</p> <p>2) 行政・団体連携プロジェクト</p> <p>3) 社会貢献プロジェクト</p> <p>3. 委員会/事務局発案による研究調査事業を5本程度展開する。</p> <p>1) 「創50戦略会議」の戦略に基づくプロジェクト（継続）</p> <p>2) 海外連携（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インド（現地研究調査機関との連携によるインド小規模都市群における地域に根差した計画・デザインの提言の社会実装の取り組み ～持続可能な開発目標（SDGs）への貢献を視野に～） ・タイ（現地研究調査機関との連携による二輪事故データ分析等の研究調査） <p>3) 海外調査（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸外国における交通関連施策の計画及び実施状況 関連情報調査 <p>4) 国際発表（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若手研究者による研究調査活動成果の国外発表 <p>4. 研究調査事業の成果報告会を開催する。 研究調査活動の成果を学会内で共有し（研究調査内部報告会）、特に成果が認められた活動については研究調査報告会にて広く社会へ公開し社会貢献の一助とする。</p>	<p>556,200,000</p>

項 目	予 算 (円)
<p>II. 国際連携</p> <p>海外の交通及びその安全にかかわる研究者及び諸団体等との人的ネットワークの維持拡大を図る。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「第4回GIFTS※：国際フォーラム」を開催する。 ※：Global Interactive Forum on Traffic and Safety 2. 海外招待会員及び海外名誉顧問のネットワークを研究調査活動やGIFTSにおける講演者の招聘等に活用する。 3. 欧米諸国等の研究機関との協働により研究調査を行う。 <p>III. 広報・出版</p> <p>以下の活動を通じて交通とその安全に関する研究成果を広く社会に発信することで、会員及び海外を含む研究者・学識経験者の知識交流の場を提供するとともに、IATSSの活動を広く認識してもらう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「IATSS Review：国際交通安全学会誌」を刊行する。 2. 「IATSS RESEARCH：英文論文集」を電子ジャーナルとして出版する。 3. ホームページの改廃等発信機能を強化する。 4. 研究調査成果及び広報資料を発行する。 <p>IV. 褒賞</p> <p>交通及びその安全に関する「論文」「業績」「著作」の各部門で褒賞を行う。</p>	

項 目	予 算 (円)
<p>V. IATSSフォーラム</p> <p>創立40周年にあたる2025年に向け、“ありたき姿”の実現のため、以下の施策を推進する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. プログラムの検証と新提案 2. フォーラムALUMNI（同窓生）を活かしたIATSS研究調査活動等とのコラボ展開 3. 国際同窓会（18年12月@ラオス）の開催支援 4. IATSSフォーラムの開催 <ol style="list-style-type: none"> 1) 開催期間 <ul style="list-style-type: none"> 第59回（5月19日～7月7日） 第60回（9月22日～11月10日） 2) 参加国 <ul style="list-style-type: none"> カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム <p>（第59回 トライアル参加：インド）</p> 	